釣りは人生とは別の時間

フライフィッシングの魅力と愉しみ

持ち、 ていた。 であることに気づか りをするようにな h 子供を育て、 を だから釣 してい るときの、 りに没頭するようになっ 働き、 なかっただけかもしれない った私は、 ある瞬間に訪れる至福の感覚は何物にも代え難い。 人並みの暮らしを営みながら、 その魅力に取り たのかもしれない 憑かれて夢中になった。 その頃の私は が、 あるい 学校を出て就職 はそれまで自分が釣り好き 何か物足りな 三十歳を過ぎて いものを感じ 家庭を

我々の生活に、 いこともあるし、 っできな だは 人はいつまで生きるかわからない。それでも生きて ないし、 い一部分なのである。 釣りの知識や技術、 不幸を遠ざけもしない。 辛いこともある。 経験が役立つことはほとんど何もない。 幸福を感ずることあ 釣りは釣りである。 1 れば不幸に思われることもある。そういう ればこそ、 それでも釣り 楽しいことが は私の人生の欠かすこと 釣り ある。 は悲しみを癒すわ また、

あっ

には二人の息子がある。

釣り

を始め

てから

<u>の</u>

時期、

私は彼らを釣りに連れて行くことが

て行くのをやめた。

生には釣りよりも重要なことが わらなくともいずれそのときがくるだろう、と思ったのである。釣りはそういうものなのだ。 がいた。彼を見て、 Z 釣り人のなかには、釣りをするために生きているような人がある。 n から二十数年が過ぎた。 そして自分自身を顧みて、 す いくらでもある。彼らが釣りをするようになるとしたら、父親に教 っかり大人になった二人の息子はいずれも 私は息子たちが釣りにのめりこむのを危惧した。 私 の釣 釣りをしない。釣 り仲間にもそういう人 りな

釣りについて考える。 私は いまも釣 りをする。 本書はそうして釣りのこと、 釣 りに行きたくても行けな 釣りについて考えたことをまとめたものである。 いときは、 釣 りに つい て書か n た本を読

らは、

釣りではなく、

父親と過ごすひとときが嬉し

かったのに違いない。

どより

他にしなければならないことが

あるのだろう。私が釣りに連れて行った当時まだ幼かった彼

釣りは人生とは別の時間 目次

# 第一章 フライフィッシング

毛鉤 英国の釣り師 II

21

転勤 32

 $\equiv$ 

解禁日

兀

56

山女魚

63

日光湯川 76

六 五.

# 釣り場を求めて 江津湖

87

釣りの仕掛け

兄と弟

103

 $\equiv$ 

II2

記憶の扉

119

兀

養沢川 123

アルンデル・アームス・ホテル

135

六 Ŧi.

故郷へ 155

七

# 第三章 釣りは人生とは別の時間

病 175

チャールズ・ラムの手紙

190

 $\equiv$ 『釣り魚大全』

ジョン・ウォーラー 200 ヒルズと釣りの本

<u>Fi.</u> 蜉蝣

233

参考文献 あとがき 246 245

216

英国 と食堂 利用 工 辺 態 ıν 0 ワ 再 は つ n ン 建 0 T T 氏 0) を 0) 1) 4 b 6 ル 6 剪定 0 が ス が た 6 な 0) け が に (Gillie) 地 め 事 ご主人 ス は幸運なことに、 で 夫妻 方 た 9 な が なる は 4 は済まな 0 魚 h る ス ラ 文字通 病に が 有様 が は フ 0) とも呼 ラ 数 釣 タ 水草 r 侵 だ を h 1 世 で キ を h か z 0 つ ン 定以 ば 案内、 紀に 取 5 さん た。 \$ ャ 0) n たときに n たご主 Ш あ ス h 口 夫妻は る テ 除 とア は釣 建て の管理 つ IJ 奥 た 維 イ 17 z 持 6 は浴室の ン ン h 人 大幅 す z 宿 0 h h ッ キ 命は た古 大会で優勝 る で キ 0 は h 経営 よう 宿 あ T ン は な 泊客 3 ガ フ 長 改装を施し な に努 ラ 魚 建物で ム を 1, は、 続 0 z 1 0 貧弱な客部屋で め 餌 な か 世 0 ん フ たこと 土手 釣 話 あ ٤ け な が イ 釣 な h IJ n て、 る。 ッ か を 場 h る が バ シ ば つ アル Ł ٤ なら た。 た。 人 ン 九二 0 生 グ あ n キ る釣 昆 落ち T 新 世 な ン 話 九 生 デ 虫 0) 挑 ボ 0 パ Ш 七二 活 年 な 戦 な h \$ 0) ル 0 す 棲 1 を す つ \$ ラ た。 一年に よう 3 魚 釣 P 息 か 7 0) 人 h で 石炭 適 ٤ 釣 で バ フ 宿 4 固 つ ッ ス が h オ 0 h 1 た環 を燃 宿 フ キ め T T ッ 良好 ラ た r ン 1 0) ク 境 ガ h イ ス ル フ な 宿 7

は ッ キ ガ 4 h わ な が 6 フ ラ 1 フ 1 ッ シ を始 め た。 0) 尾



が、 ジ の手紙は文学 0 ラ て出 そう 発刊 ム は 版さ して手 した本に収 的 n を通じ 価値 紙 T を書く が認 7 め b コ め ことが n ŧ ル n IJ 『チ て、 ラ ッ ジに ム ヤ ラ にとっ 手紙 ム ル ズ・ の文学的活動 を書き送る。 ての文学的活動 ラムの書簡選集』(The は ラ コ だ 1 4 つ Jν 0 たようで IJ 初 期 'n ジ Best Letters of Charles Lamb) 0 i 詩 もあ ょ つ 0 る。 て支えら 実際 0 か n ラ は 4 T コ 0) 1 2 ル 0 IJ ッ

えば 一七九六年六月十日 付 0 コ Jν IJ ッ ジ 宛の 手 紙 0 部 分。

七月 7 ク 溒 ち ウ が は オ な る 頃 h ま 過ぎ なら の手紙 册 は n ン 君 T 0 7 0 すぐ は 本 6 か 1 6 るところ · を読 釣魚大全』 る の手紙 か \_\_ 週間 知ら 5 h で はあ もあ せ に十分に 君も気に 1 だ。 T て、 もら れば Ź 科学的 Z け 満足 読 える b n n ども、 め ることだろう。 が子 るだろう な記述などは読みとば T 君にもぜひ読 すごくう 4 0) 頃 るさ。 が の喜びその 返信は 好まし ただ、 n 4 h 0 でもら 君に もの 5 古い (『チ 箇 せ だっ 月ば ば 詩 4 ヤ 1, たい Ø か が たもの 1 ル h た 先で くさ 素朴な対話形 ズ h が だから、 n ラ あ か ん 織 ま は つ てそ わ りこ アイ 0) な 式で

随 筆 は h 釣 な 魚大 か つ 全 たが に言及し 『釣 魚大全』 T の愛読者だ つ た。 0) 手 紙 0 数年後 か n た  $\neg$ 工

によっ する 熱心に読 ラ ム て破壊さ で 0 は ん 0 が 0 で T 時 1 n る な勤 工 る。 。 1) 7 ٤ 活躍 ラ r め 発狂し 随 人 コ 4 筆 とし は す 多庭問 ル ること IJ を T 書 日 ッ は ジ 題 0) 生活を 1 0 0 な メ ア 宛 た で か ij 7 あ つ め 営み たが る。 に文学か て手紙を書 が 2 な 母 0 が いら遠ざ を刺殺 人生 5 か らこそ、 1 で 齢 たその三ヵ か を重  $\neg$ てしまうの つ 工 満た IJ ねて 7 4 T 月後、 たことが 随筆』 され もそ の文学的 ること ラ が が 文学 あ L 0 る 0 野 日 0) な 常生活 果実とし b 釣魚大全 は枯 は 的 n 実 T

ラム 乱 七九六年十月二十二日、 コ 0 で、 IV IJ な b, 母 ッ ジ 工 にこ 手に包丁を持 IJ ザ の事 べ ス 件 夕 が 食 0 2 0 ことを手紙で つとそれ n 支度中 を大声 を母 で叱 に X 知ら 0 h P 1) 心臓に突き刺 つ せてい け がラ た。 心 ム家 Ō 病を患 に奉公し て死なせて つ T T 4 b しま た少 た メ /女に腹 r つ た。 IJ 4 は を立 母の 0) Ŧi. 日後 大声 T

第三章 釣りは人生とは別の時間

\$ 親愛なる友よ、 ホ ワ 1 か 友人 の誰 か あ る 1 は 新聞 か 何 か で我が家に起こっ

195

その で 何 な あ る 0) 工 満足 な 1 シ と楽 耽溺と  $\exists$ ン で 放 B ŧ をだ 縦 毎 が Ħ 1 な 2 つ L 0) 7 12 は V ク 6 1) H T ま しまうこと 工 せ ٨ シ 3 毎 ン 0) 日 な 0) ゆ 交 る わ ŧ h 0) を は 仕事 なけ n な ば ほ 1 か なら b 0) せ

### 匹 ジ 3 ン ゥ オ ラ Ł ル ズ 釣 の

(『完訳

釣魚大全

熟練

釣

h

師

飯

田

操訳

0)

オ ラ つ r 1 1 Ż 7 釣 1 ス が ッ (Treatise 0 シ ズ 歴史』 ン は マ グ F  $\widehat{A}$ of Fishing with an 関 兀 二 する最古 History ア 九六年 で 虫 0) of0 発刊 文献 Fly 餌鉤 z Fishing は、 Angle) を使 n たジ 紀元前二世紀、 つ て鱒を釣ることを書き ユ for を、 IJ Ź 英国 0 古 フ 九二 ラ 口 1 7 ズ マ 年発 イ の著述家クラウデ 史 ッ L たも 刊 0 グ の著者ジ のだと言 0) で ゎ 1 ン n オ る ウ が

## づ け T

末か フ ラ  $\exists$ イ フ 世 イ ッ オ で 0) ン ラ 文学 グ 0 膨 0 大な 的 価 文献 値 ズ 1 は つ を 4 S フ 六七 ラ T 1 ときな 车 評 フ 1 ま T が ッ 6 n ン 0) グ 英 0 国 n 様式 ぞれ 0 フ ラ 0) 方法論 文献 イ フ 1 0 フ が ッ 文 ラ シ 献 イ ヤ フ イ L で、 T ッ 残 2 シ る ン 0 グ <u>Ti.</u> 0)

歴史的 て、 が、 0 n 6 n は す ば 0) フ h ラ が な で 献 とまで 汚 か n n n フ 以 る膨 で 1 と道 前 は あ ることに T ッ 大 言 12 シ け 1 な数 b 具 ン わ T たで まず グ ス ポ 竿 0 0 0) まうこと 1, あろう 釣 釣  $\dot{O}$ が 猟 ス b ポ h ツ 0 h T は 0) ٤ ŧ が を推 もあ 犬を追 指南 っと手 狩猟 ツとし は 全四 方、 T 理 る。 0 z 仕 釣 軽 鷹 0 1 T 原型 n 数 掛 肉 h で か 0) る に H 体 H 意  $\sim$ 一になっ 0) 義と つ か 的 T だがが 走 打 釣 1 1 ジ T h 解放感 \$ 5 Z 0) h の文献 より 7 精神 ほど 0) 回 実践 1 釣 つ も面 る フ が 的 T 9 h 労法に ば 汗 0 ラ あ で魚を獲ることに 1 であ 白 あ イ る \$ を 物 Ĕ 負 h か 300 担 \$ つ 6 つ う。 お が 1 6 そら 大き ただ、 T 鷹 T ź か 0) 釣 狩 \$ 初 説 や鳥 精 h め h 著者で 明 つ バ 0 神 T は Z が 打 1 6 あ 神 5 良 子 T れ あ 的 的 効 3 比 ズ 0) 度 女史 ジ 内 用 ヒ べ 0) ユ ル か IJ ズに n 0) Ź

#### 参考文献

フランク・ソーヤー著 シドニー・ヴァインズ編 能本功生訳『フランク・ソーヤーの生涯』 (平河出版社 1991年)

フランク・ソーヤー著 倉本護訳『イギリスの鱒釣り』(晶文社 1990年)

エドワード・グレイ著 西園寺公一訳『フライフィッシング』(TBSブリタニカ 1985年)

アイザック・ウォルトン、C・コットン、R・ヴェナブルズ著 飯田操訳『完訳 釣魚大全』 I II II (平凡社 1997年)

山本素石著『つりかげ』(PHP文庫 1992年)

幸田露伴著『水の東京』(青空文庫)

幸田露伴著『蘆声』電子書籍版〈底本・岩波文庫〉(岩波書店 1925年)

山本素石著『渓流物語』(朔風社 1982年)

フレデリック・ハルフォード著 川野信之訳『水に浮くフライとその作成法』(カワノ・ブックス・ 水公舎 2013年)

G·E·M·スキューズ著 川野信之訳『フライに対する鱒の行動』(カワノ・ブックス・水公舎 2015年)

庄野順三著『陽気なクラウン・オフィス・ロウ』(文藝春秋 1984年)

中村汀女著『中村汀女 汀女自画像』(日本図書センター 1997年)

ラム著 戸川秋骨訳『エリア随筆』(岩波書店 1940年)

Basil Hall Chamberlain: Things Japanese, 1890. 電子書籍

(日本事物誌)

The collected works of Ernest Hemingway, Must be Interactive, 2014. 電子書籍 (ヘミングウェイ選集)

The Best Letters of Charles Lamb, Edited with an introduction by Edward Gilpin Johnson, 1892. 電子書籍 (チャールズ・ラムの書簡選集)

West Country Fly Fishing, An Anthology edited by Ann Voss Bark, Robert Hale London, 1998. (西部地方の毛鉤釣り)

John Waller Hills: A History of Fly Fishing for Trout, Phillip Allan &Co. (鱒の毛鉤釣りの歴史)

Dame Juliana Berners: A Treatyes of fysshynge wyth an angle, Wynkyn de Worde, 1946. 電子書籍(釣りで魚を獲ることについて)

The Complete Angler: Or, the Contemplative Man's Recreation, A modern Library E-Book. 電子書籍(釣魚大全、または瞑想的な男の気晴らし)

W. C. Stewart: The Practical Angler or the art of trout-fishing More particularly applied to clear water, First published, A&C Black, 1857.

(実践的釣り師 または鱒釣りの技、とくに清らかな流れに役立つこと)

A Caution to Anglers, First published by A&C Black 1871, The Fly Fishers Classic library, 2009. 電子書籍(釣り師の心得)

※本書の中で取り上げた書籍で、日本で翻訳出版されていないものについては、書名も含め著者訳を使用した。

#### 上野国久 (うえの・くにひさ)

1959年(昭和34年)熊本市の江津湖のほとりで生まれ育ち、幼少の 頃より釣りに親しむが、高校卒業後東京で暮らすようになって釣り から演ざかる。

1982年中央大学卒業後、自動車会社に就職。33歳のときに当時勤めていた会社で宇都宮市に転勤になり、勤務先の同僚にフライフィッシングを教わって、釣りを再開する。渓流でのドライフライの釣りを好む。愛知県豊橋市在住。

著書に『ホンダ、フォルクスワーゲン、プジョーそしてシトロエン 3つの国の企業で働いてわかったこと』(三樹書房)がある。

### 釣りは人生とは別の時間

フライフィッシングの魅力と愉しみ

2019年1月25日 初版第1刷発行

著者 上野国久

発行者 小林謙一

発行所 三樹書房

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-30 TEL 03(3295)5398 FAX 03(3291)4418 http://www.mikipress.com

印刷・製本 シナノ パブリッシング プレス

©Kunihisa Ueno/MIKI PRESS 三樹書房 Printed in Japan

本書の内容の一部、または全部、あるいは写真などを無断で複写・複製(コピー)することは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版社の権利の侵害となります。個人使用以外の商業印刷、映像などに使用する場合はあらかじめ小社の版権管理部に許諾を求めて下さい。落丁・乱丁本は、お取り替え致します。